

橋下徹大阪市長殿

謝罪と大阪市長辞任の要求

橋下市長、あなたは13日午前の記者会見で従軍慰安婦問題にふれ、「なぜ日本だけが取り上げられなければならないのか。慰安婦制度は世界各国の軍が活用した。銃弾が飛び交う中で命をかけて走っていく時に、精神的に高ぶっている集団に休息をさせてあげようと思ったら慰安婦制度が必要なのは誰でも分かる」と発言し、同日午後の記者会見でも「軍の規律維持のために従軍慰安婦制度は当時必要だった」といい「慰安婦制度じゃなくても風俗業は必要。普天間飛行場に行ったとき『もっと風俗業を活用してほしい』」と海兵隊司令官に提言し、凍り付いたような態度でその話題を避ける司令官に「そういうもの（風俗業）を真っ正面から活用してもらわないと海兵隊の猛者の性的エネルギーはきちんとコントロール出来ない」と迫ったことを公表しました。

この一連の記者会見に関して、従軍慰安婦になることを強制された女性たちを中心に毎週水曜日日本大使館前で日本政府の正式の謝罪を求めている人たちは即座に抗議の声をあげました。米兵・軍属等の性犯罪に苦しむ沖縄の25の女性団体は「人間の存在を冒瀆する差別発言」として抗議しあなたの日本維新の会代表と大阪市長の辞任を要求しました。韓国、中国、フィリピンなどアジア太平洋戦争で日本の侵略に遭い、日本軍の暴虐にあった国々の抗議はもちろんのこと、あなた方が友好国と認めるアメリカ政府からさえ非難の声が上がっています。日本の女性団体からも次々と抗議の声・声明が上がっています。

あなたの記者会見での発言は、究極的な女性差別である日本政府・軍による「慰安婦制度」＝性的奴隷制度を擁護するものであり、その非情な女性差別によって被害者はもちろんのこと全ての女性を傷つけました。さらにこの記者会見におけるあなたの日本の植民地支配と侵略に対する発言は「敗戦の結果として侵略だと言うことは受けとめられなければならない」というものであり「敗戦しなければ侵略ではなかった」と当時の政府・軍のアジアでの行動を正当化・合理化するものです。それはあなたの、安倍首相の『『侵略』に学術上の定義がない』との主張の合理化と一体のものでしかありません。アジア太平洋戦争によって多大な犠牲を受けた中国、韓国、朝鮮など東アジアの国々が怒りを込めて抗議するのは当然です。

わたしたちは、あなたの記者会見における発言を、究極の女性差別のすすめ・正当化であり全ての女性を冒瀆するものであり、「従軍慰安婦」になることを強制された女性たちをはじめアジア太平洋戦争で日本軍の犠牲になった人々を再び傷つけるものと考えます。直ちにこれらの人々、団体、国々への謝罪と発言の撤回を求めます。

あなたは、13日の記者会見以来、記者会見やツイッター等で、さまざまな言い訳、開き直りの発言を続けていますが、それらがますます人々を傷つけ被害と亀裂を大きくしています。あなたができるのは、あなたが傷つけた人々、団体、国々に対する心底からの謝罪しかありません。

そして、その前提は、大阪市長の辞任です。市長のあなたの発言と行為が、アジアや世界で大阪の信頼を傷つけ、関係を悪化させ、大阪に愛着を持つ多くの人々を失望させています。わたしたちは、あなたの大阪市長からの即刻の辞任を要求します。

2013年5月17日

関西共同行動一同